

修了評価の方法

	確認 ・ 評価方法	理解度 ・ 合格基準	理解不足 ・ 不合格の取り扱い
通信課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目のすべてを期限までに提出すること ・課題はすべて提出し、担当教員が提出された課題の添削を行い、理解度を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・A=90点以上 B=89点～80点 C=79点～70点 D=70点未満とし、Dの場合は、再提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・Dを不合格とし、合格点を満たすまで課題を再提出とする
介護過程Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・出席簿により出欠を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでの発言、課題への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず、欠席した場合は、補講を受講
介護技術の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク内で作成した課題に沿って、利用者の介助を行う事ができるか実技試験し、担当教員が評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・A=90点以上 B=89点～80点 C=79点～70点 D=70点未満とし、Dの場合は、再試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・不合格者に対しては、評価試験が合格となるように指導・助言・補講等の後に再試験
介護にかかる知識等の習得度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・通信課題を基にした出題に筆記試験し、担当教員が評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・A=90点以上 B=89点～80点 C=79点～70点 D=70点未満とし、Dの場合は、再提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・不合格者に対しては、評価試験が合格となるように指導・助言・補講等の後に再試験
医療的ケアにかかる知識等の習得度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・第4日に試験を実施 ・筆記試験し、担当教員が評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・90点以上を合格とする 合格に満たない者は、再試験 ・医療的ケアにかかる知識等の習得度の評価に合格していない者は、医療的ケアのスクーリングに進むことができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・不合格者に対しては、評価試験が合格となるように指導・助言・補講等の後に再試験
医療的ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・指示書に従い、喀痰吸引、経管栄養の手技を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・各手技を5回行い、うち2回が指示書通りに実施できていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず、欠席した場合は、補講を受講、再試験